

大学・高専機能強化支援事業（支援 1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F134310109866	設置等組織名	農学部（仮称）（A学科、B学科、C学科）
大学名	広島修道大学	設置区分	私立	事業計画名	特定成長分野学部の新設
学校種	大学	都道府県	広島県		

1.フェーズ別の計画及び取組状況

フェーズ別の事業計画と取組状況、年度別の自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
フェーズ1	①令和5年 8月 新学部設置準備室設置 ②令和5年 8月 新学部設置ワーキンググループ（WG）の設置 ③令和5年 9月 施設・設備、教育に関する他大学調査 ④令和5年 9月 企業・高校への訪問調査 ⑤令和5年10月 新学部実験棟建設にかかる基本計画検討開始 ⑥令和6年 1月 新学部実験棟建設にかかる設計・監理業者の選定 ⑦令和6年 4月 産学官協議会の設置 ⑧令和6年 8月 海外大学連携プログラムの検討・調査 ⑨令和7年 7月 ニーズヒアリング調査開始	①令和5年 8月 新学部設置準備室設置 ②令和5年 8月 新学部設置ワーキンググループ（WG）の設置 ③令和5年 9月 ～ 施設・設備、教育に関する他大学調査 ④令和5年 9月 ～ 企業・高校への訪問調査 ⑤令和6年 1月 予備調査の実施（R6.3.29承認） ⑥令和6年 3月 新学部棟・実験棟建設にかかる基本計画及び設備関係整備計画決定業務検討開始（R6.3.29承認） 【改組内容】 令和6年 農学部（仮称）について、入学定員を220～270名の枠内に変更して継続検討中	R5年度自己評価	【2】計画を十分には実施していない。 学科構成・財政見直し等の検討を重ね、所要の機関決定を経て進めた結果、新学部棟・実験棟の建設にかかる一部の業務を後ろ倒しして実施する必要があるため、計画変更承認申請を行い、その承認を受けた。その他、高校生のニーズをより幅広く長計的に調査するため、アンケート形式でニーズ調査を実施する等の計画変更を行い検討を進めている。 入学定員については、教育の充実と財政基盤の観点から、より本事業の目的に資する教育・研究を提供できるように定員規模を増やす方向で継続して検討している。
			○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ2 前倒し			○年度自己評価	リストから選択してください。
認可申請又は無出	令和8年 3月 農学部（仮称）（A学科、B学科、C学科）設置に係る認可申請・収容定員に係る学則変更の認可申請			
フェーズ1 後押し			○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ2	①令和6年 4月 新学部実験棟建設にかかる基本設計、実施設計 ②令和6年 6月 新学部実験棟建設にかかる地盤調査、測量調査 ③令和6年12月 施工業者の選定・行政協議 ④令和7年 3月 新学部実験棟建設着工 ⑤令和8年 4月 築地盤整備着工 ⑥令和8年11月 新学部実験棟・通場引渡し ⑦令和9年 2月 備品、実験器具、AV機器関係等搬入 ⑧令和9年 3月 供用開始		○年度自己評価	リストから選択してください。
開設又は定員増	令和9年 4月 農学部（仮称）（A学科、B学科、C学科）開設（入学定員は220～270名の枠内で継続して検討中、農学関係）			
フェーズ2 後押し			○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ3	①令和9年 4月 新学部自己点検・評価委員会設置 ②令和9年 4月 グリーン／バージョン人材育成のプラットフォーム設置 ③令和9年 7月 社会貢献、研究発表のための国際シンポジウム開催 ④令和9年 8月 高大連携のための合宿講座開催（毎年開催） ⑤令和9年11月 地域貢献のための公開講座開催（毎年開催） ⑥令和11年4月 他大学連携による産学官連携事業の導入（3年次対象） ⑦令和13年1月 産学官連携・地域連携による卒業論文発表会実施		○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ3			○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ3			○年度自己評価	リストから選択してください。
定員減又は学部等の廃止	令和8年 8月 新学部設置に伴う他学部・学科の入学定員減 115名			

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	広島修道大学
-------------	-------	-----	--------

2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

i) 学生募集停止中の大学

該当無し	☒ チェック
------	--

ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	☒ チェック
------	--

iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し	☒ チェック
------	--

iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	☒ チェック
------	--

v) 大学、短期大学及び高等専門学校等の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	☒ チェック
------	--

3.申請要件の取組状況

令和5年度の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。					
	<table><tr><td>確認を受けている</td><td>☒ チェック</td></tr><tr><td>確認の対象に該当しない</td><td>☐ チェック</td></tr></table>	確認を受けている	☒ チェック	確認の対象に該当しない	☐ チェック	
確認を受けている	☒ チェック					
確認の対象に該当しない	☐ チェック					
②	十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
④	特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑤	計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑥	特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑦	学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑧	入学定員が20名以上増加する計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑨	事業計画の進定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる、又は設置等を行った</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	☒ チェック			
計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	☒ チェック					
⑨	大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑩	フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					

フローアップ対象年度	令和5年度	大学名	広島修道大学
------------	-------	-----	--------

⑬

計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

計画通りに進んでいる

☒ チェック

⑭

選定された大学は、公費要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文科科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した

☒ チェック

⑮

文科科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

認定を受けておらず申請する意向もない

☒ チェック

4. 審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和5年度の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

- ☒ チェックa.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- ☒ チェックb.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- ☒ チェックc.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
フェーズ1期間に以下の事項を検討する。第1に既存の協定締結企業等への相談の他、広島経済同友会、広島県中小企業家同友会等本学が会員である団体を通じてクロスポイント制度を利用した講師派遣等教育連携について検討する。第2に既に教員が農業・環境関係の審議会委員等として関わる自治体・団体（広島県、広島市、江田島市、広島市農林水産振興センター等）の他、県内外の研究機関との連携によるPBL科目等の実施を検討する。第3に他大学との連携として、既存教育コンソーシアムへの参画継続の他、中四国地方の国公立大学の農業・環境関連学部等との連携（実験・フィールド実習等）や情報系学部との「情報×農業」連携、他地域大学との国内留学制度等を検討する。第4に海外連携について、本学教員の共同研究・教育実績のあるタイのカセート大学等アジア・オセアニアの農学系大学との連携（交換留学プログラム等）を検討する。	連携を通じた教育体制の整備に向け、令和5年度は学科構成等を検討した。また、広島市農林水産振興センターや広島県果実農業協同組合連合会との本事業に関する協議や提携可能校のリストアップ等を実施した。令和6年度には産学官協議会を設置し、外部連携を通じた教育体制の具体化に向けた検討を引き続き進めていく。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- ☒ チェックa.入学者選抜における科目の見直し
- ☒ チェックb.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- ☒ チェックc.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- ☐ チェックd.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
- ☒ チェックe.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
従来の高等学校説明会の実施や高校別・併願学部別等受験者分析に加え、フェーズ1期間において県内外の農業・環境関連科や理数系コースのある高校を対象とした個別訪問調査を実施し、進学ニーズ抽出や連携強化（出張講義や指定収入試等）の検討を行う。特に女子生徒に対し、SDGsを实践する新しい食や農、文理融合分野に目を向けようという、理系の進学先としての視野を広げる働きかけを強化する。また広島県で初めての私立大学農学部となるため、同分野を志望する普通科生徒が進学先として検討可能な受験科目かつアドバンテージを満す入学者選抜のお力を検討していく。留学生については、海外大学と協議を行う中でプログラム参加を働きかけるとともに、英学会等留学の際に必要な支援の検討を行う。社会人学生受入はフェーズ1におけるニーズ調査の結果をもとめ将来的に検討する予定であるが、現在進行中の本学全体の社会人学生受入施策の検討と併せて進めることを考えている。	従来の分析に加え、検討を推進するための予備調査として、高校生に対して事前ニーズ調査を実施した。予備調査は、高校生のニーズをより幅広く統計的に調査するため、アンケート形式（721サンプル回収）で実施し、分析結果を学内会議にて検討材料とした。今後は、女子生徒・留学生・社会人学生等、個別具体的な志願者の確保に向けた検討を進めていく。	

大学名	広島修道大学
-----	--------

1. 本事業対象となる学部等の状況

＜合計＞

[illegible]

大学名	広島修道大学
-----	--------

改組内容	学部の新設
学部学科名	農学部B学科

[illegible]

大学名	広島修道大学
-----	--------

(3)

改組内容	学部の新設
学部学科名	農学部C学科

[illegible]

大学名	広島修道大学
-----	--------

2.理・工・農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

[illegible]

大学名	広島修道大学
-----	--------

3.大学（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	1415	1440																	
		入学者数	人	1522	1525																	
	その他の学期	入学定員	人	***	***																	
		入学者数	人	***																		
	入学者合計	入学定員(A)	人	1,415	1,440																	
		入学者数(B)	人	1,522	1,525																	
		入学定員充足率 (B/A)	倍	1.08	1.06																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	5660	5685																	
		編入学定員	人	0	0																	
		在籍者数(D)	人	6223	6233																	
		編入学者数	人	1	0																	
		収容定員充足率 (D/C)	倍	1.10	1.10																	

4.外部資金の状況（全学）

年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況			選定－5年	選定－4年	選定－3年	選定－2年	選定－1年	選定				開設			完成年度						
項目	単位																				
外部資金獲得額	千円		88,352	92,974	72,615	62,845	79,440	58,430													

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間における各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均）(E)	千円	80,136
本事業による助成金の額(F)	千円	1,701,250
フェーズ3の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	122,667

特記事項

編入学については、学生数に欠員のある場合に認めており、「3.大学（学士課程）の状況」の収容定員等の編入学定員0人とは、若干名を意味している。
--